

## 第1回 資源循環型施設建設候補地選定委員会 会議録

日時：平成17年 5月24日(火)  
午後1時20分～3時00分  
場所：上田市役所 5階 第3委員会室

### 1 開 会

### 2 連合長あいさつ

### 3 自己紹介(委員・事務局)

### 4 正副委員長の選出について

委員 長：学識経験者 表 秀孝 委員

副委員長：住民代表 栗田たか子 委員

### 5 正副委員長あいさつ(表委員長、栗田副委員長)

### 6 協議事項

(1) 委員会設置要綱(案)について・・・・・・・・・・(資料1)

(2) 上田地域広域連合ごみ処理の概要・・・・・・・・・・(資料2)

(3) 建設候補地選定委員会の進め方・・・・・・・・・・(資料3)

(4) 情報公開について・・・・・・・・・・(資料4)

(5) 第2回委員会の予定及び検討事項

次回委員会 6月下旬

### 7 その他

### 8 閉 会

出席委員（14人）

栗田たか子	委員
上沢 忠人	委員
両角 秀	委員
若林 政夫	委員
金井 善男	委員
樋口 勲	委員
小山 敏子	委員
木口 憲爾	委員
表 秀孝	委員
川上 清	委員
外山 愷	委員
南波 清吾	委員
柳澤 旨賢	委員
片桐 久	委員

欠席委員（1人）

宮原 則子	委員
-------	----

出席者 事務局（11人）

社団法人 全国都市清掃会議	技術部長	栗原 英隆
上田市役所 廃棄物対策課	課長	田中 行房
東御市役所 市民課	課長	大村 興敬
丸子町役場 生活課	課長	新井 忠雄
真田町役場 観光商工課	課長	滝沢 徹雄
武石村役場 建設環境課	課長	掛川 兼司
和田村役場 住民課	係長	長井 剛
青木村役場 住民福祉課	課長	中澤知賀雄
上田地域広域連合事務局	事務局長	市村 良夫
上田地域広域連合事務局	ごみ処理広域化推進室 室長	宮澤 俊文
上田地域広域連合事務局	ごみ処理広域化推進室 主任	塩入 学

出席者 コンサルタント（2人）

国際航業株式会社 公共ビジネス事業本部 環境統括部		
環境施設部	課長	尾葉石 優
環境施設部	主任技師	井土 將博

開会（1時20分）

## 1 開会

（事務局）

どうも皆様こんにちは。大変お忙しい中、上田市役所までお越しくださしましてありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから、第1回資源循環型施設建設候補地選定委員会を開会させていただきます。

本日の委員会ですが、お手元の資料の次第に沿いまして進めさせていただきたいと存じます。

6番目の協議事項に入りますまで、事務局の方で司会進行を務めさせていただきますが、よろしくお願いいたします。

申し遅れましたが、わたくし、上田地域広域連合事務局長の市村と申します。今後ともよろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿いまして、進めさせていただきますが、2番目の連合長あいさつということで、母袋連合長から皆様方に、ご挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

## 2 連合長あいさつ

（連合長）

どうも皆様おつかれさまでございます。ありがとうございます。上田地域広域連合長を務めております、母袋でございます、よろしくお願いいたします。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、資源循環型施設建設候補地選定委員会に、ご出席いただきまして、大変ありがたく、思っているところでございます。

今般、お願いいたしましたのは、広域連合の資源循環型施設、いわゆる統合ごみ処理施設という位置づけの中で、合わせてリサイクルプラザの建設、両要素を持ち合わせたものという位置づけの中で、広域連合の最重要課題のひとつとして位置づけまして、ごみ処理広域化計画に基づき、これまで計画を進めてまいりました。

しかし、施設建設地ということは、大変紆余曲折がございまして、大変難しい課題だなと感じております。原点に戻りまして、候補地を選定いただくため、オープンに皆様にご議論をいただきたい、このようにまず願うものでございます。

ご承知とは思いますが、国におきましては、資源循環型社会形成推進基本法に基づき、循環型社会の構築という、大変大きな課題を目指しながら、容器包装リサイクル法をはじめとする、リサイクルに関する法律を施行しました。また、廃棄物の発生抑制、資源の有効利用に取り組んでいることは、いうまでもございません。

一方、地方自治体におきまして、住民との協働という視点のなかも含めまして、ごみの分別収集、資源回収、生ごみの堆肥化など、さまざまな取り組みを進めているところでもございます。

ごみは、できるだけ出さないようにしよう、リサイクルできるものはそのようにしていかうということ、住民等しく考えていくことが、原則であろうと、このように思うわけでございます。このことが徹底されていきますと、限りなくごみの量も減っていくのであろうと、このように考えます。最近になりまして、このような考え方が、住民にも、全国

民にも、浸透してまいったと思います。全国的に見ても、あるいは、同様に上田地域におきましても、ごみの発生量というのは、減少傾向が見え始めている、ということでございますが、まだ定着というまでは至っていない、このように受け止めております。

現実として、いまだ多くのごみが、発生していることも、事実でございます。ごみ処理施設は、これらを適正に処理いたしながら、資源を循環するための施設であり、私たちの日常生活になくってはならない施設であることも、事実だと受け止めております。

現在、この地区で、稼働しております広域連合の3施設につきましては、経年とともに老朽化が進むものでございます。できるだけ早く安全で安心な、資源を循環できる施設の整備、こういったものを目指してまいりたいと考えております。

施設整備につきましては、昨年の12月に、資源循環型施設整備検討委員会からご提言いただいたところでございまして、こういった内容を踏まえながら、環境に負荷をあたえない、あるいは、住民の皆様が親しまれる施設としてまいりたいと、このように考えております。

心配なことは、スケジュール的な問題でございます。大変厳しいスケジュールの中で、この候補地の選定ということでございます。皆様には、大変困難な大きな課題についてご検討いただきますことに対しまして、心から感謝や御礼を申し上げたいと思うわけであり。十分な議論を尽くしていただきながら、ご協議いただきたい。そんなことを、節にお願い申し上げる次第でございます。

なお、誠に恐縮ではございますが、それぞれのお手元に委嘱書を配布させていただいております。大変、簡便方で失礼申し上げますが、ご理解を賜りたいと思っております。なにとぞよろしくお願い申し上げます。わたくしからのごあいさつといたします。ありがとうございます。

(事務局)

ありがとうございました。ただいま、ごあいさつ申し上げました連合長でございますが、午後1時30分から他の公務のため、ここで、ごあいさつのみで退席させていただきますが、よろしく願いしたいと思っております。(連合長退席)

### 3 自己紹介(委員、事務局、コンサルタント)

各自自己紹介

### 4 正副委員長選出

互選により委員長 表 秀孝氏、副委員長 栗田 たか子氏に決定。

### 5 正副委員長あいさつ

正副委員長あいさつ。

(事務局)

ありがとうございました。それでは、6番目の協議事項でございますが、ただいま委員長が選出されましたので、協議事項につきましては、表委員長さんの方で進行をお願いい

たします。よろしくお願いいたします。

## 6 協議事項

### (1) 委員会設置要綱(案)について

(委員長)

それでは、次第に基づいて協議に入りたいと思います。

(1) 委員会設置要綱(案)について協議したいと思います。説明を事務局からお願いします。

(事務局)

資料3ページ (1) 委員会設置要綱(案)について資料1に基づいて説明する。

(委員長)

事務局から説明をしていただきましたけれども、第1条の設置のところでは住民参加によって候補地を選定するというので、明確に位置づけられております。そういう意味では、一部の専門家のようなところで決めるのではなくて、住民の方たちに参加していただきながら、決めていくという、この委員会の性格の確認をして、もし、ご異議がなければ、今日付での施行としたいと思いますけれども、ご意見がございましたらお願いいたします。

(各委員)

異議なし。

(委員長)

ありがとうございます。それでは、日付を24と入れていただいて、(案)をとっていただければと思います。

### (2) 上田地域広域連合ごみ処理の概要について

(委員長)

それでは、2つ目にいきたいと思いますが、(2) 上田地域広域連合ごみ処理の概要について説明をお願いします。

(事務局)

資料4ページから13ページまで (2) 上田地域広域連合ごみ処理の概要について資料2に基づいて説明する。

(委員長)

事務局の方からご説明がありましたけれども、ご質問、ご意見がありましたらお願いします。この資料は、これから議論するときのベースになろうかと思っておりますので、また、目を通しておきながら、必要に応じてご質問いただければと思います。

一つお聞きしたいのですが、広域連合で処理されているごみはわかるのですが、この地

域から外へ出ているごみに関するデータはあるのでしょうか。

(事務局)

いわゆる不燃ごみと焼却灰が可能性としてあると思われます。不燃ごみのデータは、手元に資料はございません。その辺は、次回に調べたいと思います。焼却灰については、資料の12ページに一番下でございますが、記載してございます。この中で、クリーンセンターごとの焼却灰の発生量が書いてございますが、上田と東部につきましては、最終処分場を持っているということもありまして、自前で処理しております。丸子につきましては、最終処分場が満杯になってしまったこともありまして、県内の豊田村(現在:中野市)の民間処分場へ最終処分を外部委託しております。

(委員長)

はい。わかりました。是非、廃棄物の全体の流れがつかめると、もう少し姿がよく理解できるのではないかと思いますので、一般廃棄物が処理できている分と外へ出ている分、できれば産業廃棄物も含めて、この地域全体の廃棄物の流れが分かれば、いいと思うのですが。

(事務局)

産業廃棄物につきましては、むずかしいのではないかと思います。できるだけ調査したいと思います。

(委員長)

ご意見いかがでしょうか。よろしいでしょうか。また、細かな説明をしていただくということをお願いしたいと思います。

(3)建設候補地選定委員会の進め方について

(委員長)

それでは、3番目にまいります。(3)建設候補地選定委員会の進め方について説明をお願いします。

(事務局)

資料14ページから15ページまで(3)建設候補地選定委員会の進め方について資料3に基づいて説明する。

(委員長)

いまの説明の中で、14ページのところで流れが建設エリアの評価・選定のところに集中していますが、委員会において審議しながら、そのすべてを情報公開していくという概念図になっているわけですが、この進め方についていかがでしょうか。何かご意見ございませんでしょうか。

例えば、委員会にもたくさんの住民代表の方がいらっしゃるの、地域においても十分

ご意見をお聞きすることは可能だと思いますけれども、情報公開された情報に基づいて、広く住民からのご意見はどのような形で反映させる、あるいは、位置づけることを考えていらっしゃいますか。

(事務局)

次の協議事項であります情報公開についてと重なるところもございますが。

(4) 情報公開について

(委員長)

それでは、情報公開についてと一緒に説明をお願いします。

(事務局)

資料16ページ 情報公開について資料4に基づいて説明する。

(委員長)

まず、進め方も含めて、大枠のところ、ご意見いただければと思いますが。基本的には、このような性格を持った委員会の場合には、徹底した情報公開と、リアルタイムの情報伝達ということが、一番重要なことになるだろうと思います。それでも、住民の方たちには、情報というのは広がっていかないですし、結果として知らなかったということも多いわけですけれども、しかし、委員会としては、基本的に、今までの情報公開よりも、もっとレベルの高い情報公開を努力していく、その姿勢は必要ではないかと思います。

その中で、事務局で触れられましたが、個人情報の保護の問題がありますから、そういうところを、どう整合性をとっていくかということも、考えていかなければならないことだろうと思いますので。そこは、慎重にやりながら情報に関しては、原則としてしっかり住民の方たちに届けるということだろうと思います。

(委員)

はい。

(委員長)

はい。どうぞ。

(委員)

私は、昨年までの施設整備検討委員会の委員をやっておりましたが、反対派の方たちが、自宅にまで大勢いらっしゃるということがありまして、委員として個人情報については、配慮していただきたいと思います。

今回の委員会に出席することについても、家族からは、火中の栗は拾わなくてもいいのではないかとわれまして、自宅にいらっしゃるの、だいたい夜遅くが多かったので、家族に迷惑がかりました。

そうはいつでも、誰かが委員をやらなければいけないですし、委員長がおっしゃった情

報公開の後追いなど、ますます情報公開については、難しくなってしまうかもしれませんが、徹底した情報公開をしつつ、個人情報にも配慮していただきたい。傍聴に来られる方もいらっしゃると思いますが、電話番号や住所の公開は控えていただきたい。

事務局の説明のなかで、ホームページでの情報公開だけでは、一般住民の中にはまだ不十分だと思います。紙によるものとか、広報等でお示しいただければ、ありがたいと思います。

情報公開のひとつとして、委員さんの中でごみの減量化について普及活動されている“ぱっくん”などのごみ処理の技術の進歩、方法などを住民に知らせていけばいいのではないかと。

施設整備検討委員会におきましては、提言として施設規模150t炉としたわけですが、人口規模からみても非常に厳しいわけであります。それによる余剰対応分としては、ピット容量は、11日分の貯留を確保することとしました。情報公開とは別に、減量化の意識を徹底させる方策を講じながら、さらにPRする必要があるのではないかと思います。

(委員長)

ありがとうございました。非常に重要なことですね。委員会としては、場所の選定というのが最終目標なるわけですが、おっしゃられたように、住民の方たちと一緒にあって、減量化へ向けた努力というものをどう作り上げていくか。たぶん、こういう問題は進んでいかなんかだろうと思います。それを作り上げていくシステムを含めて、検討できればいいのではないかと。

ある意味で、委員会に住民の方たちの情報を寄せていただく場合、何らかのルールが必要なかもしれないですね。委員さんの自宅などのところへ行くというやり方は、たぶん、問題なんだろう。委員会として公開されているわけですから、住民の意見も委員会で集約できるようなルールが必要になってくるだろう。ただ、そうはいつでもですね、だんだん作業が進んでいって、それこそエリアから候補地へ絞られてくるとですね、いよいよ自分たちのところへ迫ってくるわけですから、そんなこと言っていられないということになるかもしれませんが、全体的な議論をするときから含めてですね、地域の住民の方たちにもこの問題は、しっかりと担って考えてもらいたいという、そういうやりとりができるといいなと思いますね。それなしでは、たぶん、何を決めても無意味になりかねないという心配すらありますので、議論を進めながら考えていけたら、是非ですね、事務局の方でもですね、住民との連携をはかるシステムをテーマに考えていただきたい。

それから、紙ベースの情報公開という意見がございましたが、これはいかがでしょう。

(事務局)

やはり、ホームページだけでは不十分ということは、確かにおっしゃるとおりだと思っております。基本的に紙ベースで考えているのは、報道機関による情報公開とか、あとは広報誌を活用していきたいと思います。他にも、もう少しいろいろな方法があるかと思っておりますので、それらについてもですね、もし、ご意見ありましたらお出しいただく中で、考えていきたいと思っております。

(委員長)

ひとつとしては、事務局が大変なのかもしれませんが、委員会のときにニュースレターを出したり、このテーマだけで地域に発信していきますから、わりと目を通していただけるのかなという感じもします。それでも、まだ、不十分なかもしれませんが、ただ、それを毎回作っていくというのは、大変ではありますけどね。

(事務局)

案を作りたいと思います。

(委員長)

やはり、紙ベースでの情報公開は非常に重要なことになっていくだろうと思います。県なんかもそうなんですけれども、ホームページでやっているからといってもですね、これは、まだまだ、日本の社会の現状では、それこそ、見ている人にしかわからないと思います。他にご意見はございますか。

(委員)

やはり、住民一人一人が、いま、焼却施設がなぜ、新たなものにつくりかえなければいけないのかとか。新たなものをつくるにあたってはどうなのかとか。危機感というのが本当に薄いんですね。行政側も、もう少し、市民に現状はどうであるかということ、並行して情報を出していただきたい。わたくしもいろいろなところで、多くの方とそういう話をしているんですが、上田に住んでいて、ごみを焼却に出しているながらも、“上田市はそんなに焼却施設が大変なの”と言う方が今でもたくさんいらっしゃるということ。その辺も大きな問題だなと思いますので、そういったことも、多く情報を出していただいて、もう少し、危機感を感じられるような方向へ、むけていただけるといいかなとそんなふうに思います。よろしく願いいたします。

(委員長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

口で表現することはやさしいですけれども、とにかく、この委員会の姿勢として住民の方たちと一緒にやっていくんだ。協働してやっていくんだということをどれほど作れるかというところに、力をそそぐということにしていかななくてはいけない。ただ、実現は、大変むずかしいテーマですけれども、それだけは、いつも忘れないでいただきたい。

他にご意見いかがでしょうか。全体の流れはよろしいでしょうか。

この委員会は、一年足らずでやらなきゃいけないのですから、いろいろ大変だというふうに思いますが。

よろしいでしょうか。ありがとうございました。

(事務局)

委員長、よろしいでしょうか。情報公開について、委員の皆さんが会議内容をどのように公表するのか、例えば、委員会がある程度進んできた中で、候補地が絞られるというよ

うな状況がでてきたときに、“どこになりそうだ”という話を決定前に委員さんが情報をだしてしまうと変な誤解を招くようなことを心配しておりますが、その辺について、どのように、ルールを決めると申しますか、ご検討いただければと思います。

どういった意見が出たといった内容も、当然ホームページとか他の媒体も使って広報したいと思っておりますが、個々の委員さんのレベルの中でですね、これも重要な情報公開の一部にはなるのですけれども、情報公開のレベルと申しますか、誤解を招くような内容、ホームページに出ている以上の内容が公表されてしまうようなことがあれば、情報だけがひとり歩きしてしまうのではないかと。ということもありまして、ある程度、ホームページ以上の話については、公の場の中では話さないとか。

しかし、委員の皆さんそれぞれの立場でいらっしゃると思いますので、いろいろ場所で意見交換はあると思います。その辺の内容をどのように整理したらいいのかなど。もちろん、それぞれ委員さんのお考えの中でやっていただければいいことなんですけど。ルールと申しますか、ご検討いただければと思います。

(委員長)

基本的にはですね、こういう場合には、事務局が責任を負うという範囲は、議事録の範囲、この資料では会議録となっておりますが、公表される会議録の範囲。そこから後はですね、各委員さんの関わりがあるでしょうし、黙っているわけにもいかないでしょうから、各委員さんの個人の意見として位置づけていただきたい。その部分だけは、きっちりしておいた方がいいだろう。

公式に出て行くものとしては、会議録は明確なものです。あとは、各委員さんの判断に任せるしかないんじゃないでしょうか。そこまで、委員会が委員の発言を、しばるわけにはいかないだろう、というふうに思いますし、各委員の方たちも、いろいろな関わり方の地域活動があるでしょうから、そこでの発言は、そこでの発言として、責任を負ってもらうということに、なっていくのではないのでしょうか。

わたしは、あまりそのことに関しては、心配していません。

(事務局)

ありがとうございました。

(委員)

委員長、ちょっとよろしいですか。

(委員長)

どうぞ。

(委員)

今の話は、結構なんですけれども、平成13年度から統合クリーンセンター及びリサイクルプラザを一体に整備するというところで、建設候補地選定が検討され、私も、過去の委員会資料として適地選定の経過資料は持っているが、新しい委員さんにも、公平に議論を

してもらおうという意味では、検討経過の資料を配布しておいた方がいいのではないかと。

(事務局)

概要につきましては、先ほど、ご説明申し上げたとおり、資料7ページ・8ページのところで、経過につきましてはお示ししてあるとおりでございます。

(委員)

それはよくわかりますけれども、候補地として全8市町村29箇所抽出して、一次・二次・三次スクリーニングをやって、どんな経過で最終的に候補地が選定されたのか、分かっていたほうがいいのではないですか。

(事務局)

今回の委員会は、原点からの出発ということですので、あまり先入観をあたえる内容でもいけないのかなと思ひまして、資料としてはお示ししてありません。

(委員長)

16年度において、原点に戻るということが確認されていますので、逆に言いますと、神の倉も全体の中で、候補地としてははずすということにはならないわけですね。しかし、結果としてははずれるかもしれませんし、そうでないと、例えば反対運動があったから、候補地からははずすということがありますと、全地域から反対運動がある場合がありますから、候補地は選定できないと思います。少なくとも、神の倉も含めて、全て白紙に戻ったところからの再出発であることは、確認しておきたいと思います。

委員さんがおっしゃった資料については、過去にそういうことがあった資料として位置づけておいていただくということではどうでしょうか。知りたい委員さん方は事務局に言っていただくということではないと、例えば、全員配付してしまいますと、それが出発点になりかねないと思います。

(事務局)

ご希望があれば、こちらに資料はありますので、お示しできるということをお願いします。

(5)第2回委員会の予定及び検討事項

(委員長)

それでは、次に進めてください。

(事務局)

それでは、(5)第2回委員会の予定及び検討事項ということでございます。これについては、特段の資料は用意してございません。第2回目の予定でございますけれども、6月末ごろ第2回委員会を開催したいと思っております。お手元に置いてあります、FAX送信票に6月の後半と7月の前半のカレンダーを載せてございまして、各委員さんの予定を

記入していただきまして、事務局の方へFAXでいただけたらと思います。皆さんの都合が良い日が一番多い日を選ばしていただきまして、会議の開催をご通知申し上げたいと思います。

会場につきましては、次回以降は、清浄園で開催したいと思います。お手元に地図をお配りしてございます。よろしく申し上げます。

2回目以降に、候補地選定の進め方について、ご議論いただければと思いますけれども、最近のごみ処理の情勢といえますか、全国状況、ごみ処理に関する技術などございますので、本日、お見えいただいております、全国都市清掃会議の栗原技術部長に全国的にごみ処理というのはどういう状況になってきているのか、いろいろと話していただければと思っております。

コンサルタントの方で、地理情報システムにつきましては、デモをみていただきまして、どのように候補地について検討していくかということ、ご議論いただければと考えております。

例えば、概念図にもあったんですけども、保安林、農振農用地とかを地図上にデータを載せまして、何を残して、何をはずすというのは、今後のご議論になりますし、それ以外にも、公共施設用地はどうするかとか、埋蔵文化財なども議論になると思います。そのようなシステムを具体例として、みていただいて、項目をご検討いただくということも考えております。

それから、視察は一度したいと思ひまして、できれば7月ごろにでも視察ができればと思っております。もし、委員さんの中で、情報といたしまして、こんな視察場所はどうかとか、お話がございましたら、事務局の方へお寄せいただければと思います。

2回目以降については、そのように考えておりますが、何かございましたら、よろしくお願いいたします。

(委員長)

日程が決まりましたら、少なくとも、一週間前には資料を事前に配布していただき、委員さんに目を通してもらってからお集まりいただき、議論しやすいのではないかと思います。

(事務局)

資料につきましては、事前に配布できず、大変申し訳ありませんでした。委員会の前には、できるだけ資料を配布できるようにしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(委員長)

それでは、ご都合のつく日の予定を事務局の方へお知らせいただければと思います。他によろしいでしょうか。それでは、その他について事務局の方で何かありますか。

7 その他  
特になし。

(委員長)

それでは、第1回目の委員会は、これで終了したいと思います。どうもありがとうございました。

8 閉会

閉会(3時00分)